

はじめに

鳥取県では、県内の企業・事業所が子育て支援やワーク・ライフ・バランスの推進のためにどのような取組を進めているのかを把握するため、ダイバーシティ・コンサルタントである、あつみなおき 渥美由喜氏発案の企業子宝率という指標を用いて調査しました。

調査の結果、企業子宝率の数値が高く、子育て支援に率先して取り組んでいる企業7社を表彰し、その取組を参考として紹介します。今後の企業経営に繋がる取組や職場風土づくりの一助となれば幸いです。

INDEX

- 子育てしやすい職場環境づくりの取組事例 …… P3
- 令和元年鳥取県企業子宝率調査に係る知事表彰企業の取組事例
 - 有限会社奥井製作所 …… P4
 - 中一建設株式会社 …… P4
 - 株式会社バクト総業 …… P5
 - 株式会社フラワーマーケット米子 …… P5
 - 医療法人さとに田園クリニック …… P6
 - 株式会社メモワールイナバ …… P6
 - 学校法人かいけ幼稚園・認定こども園かいけ心正こども園 …… P7

鳥取県「企業子宝率」調査概要

1. 調査内容

(1) 企業子宝率調査

男女問わず企業の従業員（15～59歳）が、当該企業在職中にもつことが見込まれる子どもの数を推計するための調査を実施

(2) 子育てしやすい職場環境づくりの取組状況調査

育児休暇・育児休業を取りやすい取組、職場復帰への取組、会社独自の子育て支援の取組などのアンケート調査を実施

2. 調査対象 県内に本社がある
常用雇用者10人以上の事業所

3. 回答数 399事業所

4. 調査方法 郵送による回答

5. 調査期間 令和元年6月1日（土）
～6月30日（日）

※企業子宝率調査方式に関する一切の知的財産権は、この調査方式の発案者である渥美由喜氏に帰属します。発案者の事前承諾なく、複製・転載・流用・転売・複写等はできません。

「企業子宝率」調査結果

令和元年度
企業子宝率全体の
最高値・平均値

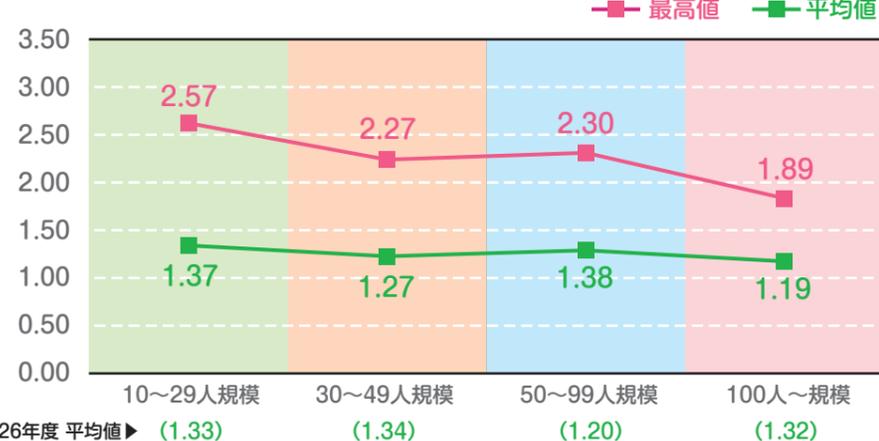
最高値 **2.57**

平成26年度 最高値 2.43

平均値 **1.35**

平成26年度 平均値 1.31

従業員規模別の最高値・平均値



子育てしやすい職場環境づくりの取組事例

アンケートの回答の中から、県内企業が行っている子育てしやすい職場環境づくりの取組について、その一例を紹介します。

1 育児・介護休業を取得しやすい職場環境や雰囲気づくりの主な取組

社内で休暇取得に関する広報を行う

実際に育児休業を取得された方に取材し、広報誌に載せる。また、育児休業に関するリーフレット等を社内に掲示している。

相互協力により、休暇を取得しやすい環境を整える

業務をチーム化し、チーム内で業務を調整しながらフォローできる体制を整える。

育児・介護休業等に関する規定を作成し、取得を奨励する

育児・介護休業に関する規定を作成し、社長や上司から取得を奨励している。



ポイント

制度・体制整備、積極的な広報で
育児・介護休業の取得を後押し

2 育児休業を取得した従業員が職場復帰をしやすいとする主な取組

育児休業中に復帰に向けての面談の実施

育児休業取得者と育休復帰面談シートを作成し、育児休業終了前に面談を行いサポートする。

育児休業中の職員へ情報提供を行う

担当業務を中心とした職場の状況を情報提供し、復帰後に安心して業務に取り組めるようにしている。

短時間勤務制度の活用や業務内容を考慮

復帰後しばらく負担のかからない業務に変更したり、短時間勤務制度の導入や昼休憩を長めに設定するなど配慮している。



ポイント

こまめな情報発信や面談を実施し
スムーズな育児休業復帰をサポート

3 子育て中の社員に配慮した独自の主な取組

短時間勤務や定時退社の制度化

毎週水曜日、毎月1回「育児の日」を設け早帰りとしていることや、子どもが3歳までは時短勤務や定時退社を制度化している。

子育て応援のための助成制度を整備

病児保育施設の利用料や有給休暇を取得して家族旅行をした場合の旅費の一部を助成している。

シフト管理や代替社員で休みやすい雰囲気づくり

学校行事等は必ず休めるようなシフト管理や、面談で子育ての悩みを確認しながら代替社員を配置し急な早退、休暇に対応する。



ポイント

子育てのための金銭面や時間の負担軽減を制度整備してバックアップ